

令和3年度
教員免許状更新講習
募集要項



愛知学院大学

目次

1. 教員免許状更新講習	1
2. 開講案内	2
3. 申込手続	3
4. 履修証明書及び修了証明書について	4
5. 講習シラバス	6
6. よくある質問	12
7. 交通アクセス	13

【お願い】

令和3年度の教員免許状更新講習は、4月20日時点では実施予定で進めておりますが、新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、開設講習の縮小、中止等の対応をさせていただく場合もありますので、予めご了承のほどお願いいたします。

令和3年度 教員免許状更新講習 実施案内

1. 教員免許状更新講習

(1) 本学における教員免許状更新講習テーマ

本学では、教員免許状更新講習を全学的な支援体制で取り組んでいます。教職についての知識を深めるとともに、受講していただく方々が新鮮な気持ちで教育現場に臨んでいただける更新講習を行います。

(2) 教員免許更新制とは

平成19年6月の改正教育職員免許法の成立により、平成21年4月から教員免許更新制が導入されました。

教員免許更新制は、その時々で求められる教員として必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能を身に付けることで、教員が自信と誇りを持って教壇に立ち、社会の尊敬と信頼を得ることを目指すものです。

教員免許状更新講習は、必修領域「全ての受講者が受講する領域」の6時間、選択必修領域「受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域」の6時間と、選択領域「受講者が任意に選択して受講する領域」の18時間（6時間ごとに受講することも可）、合計で30時間の講習を受講する必要があります。

※平成28年4月から制度改正により、従前の「必修領域12時間と選択領域18時間、合計30時間受講」から「必修領域6時間、選択必修領域6時間と選択領域18時間、合計30時間受講」に変更されています。

(3) 教員免許状更新講習 受講対象者について

令和3年度の講習は、普通免許状又は特別免許状を有する現職教員等の方を対象としています。なお、本講習は**本学が受講を義務付けるものではありません**。受講に際しては、ご自身が対象者に該当するか、証明先機関にて確認の上、お申込ください。

＜旧免許状を所持する方＞

○令和4年3月末に修了確認期限を迎える方

生年月日
昭和31年4月2日～昭和32年4月1日 (1956年4月2日～1957年4月1日)
昭和41年4月2日～昭和42年4月1日 (1966年4月2日～1967年4月1日)
昭和51年4月2日～昭和52年4月1日 (1976年4月2日～1977年4月1日)

○令和5年3月末に修了確認期限を迎える方

生年月日
昭和32年4月2日～昭和33年4月1日 (1957年4月2日～1958年4月1日)
昭和42年4月2日～昭和43年4月1日 (1967年4月2日～1968年4月1日)
昭和52年4月2日～昭和53年4月1日 (1977年4月2日～1978年4月1日)

※平成21年4月1日以降に初めて教員免許状を授与された方は、文部科学省 HP(下記 URL 参照)で確認してください。

教員免許状更新制度に関する詳細は、文部科学省 HP をご覧ください。

URL: http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/index.htm

2. 開講案内

(1) 本年度の開講講習について

本年度開講の講習内容・日程・募集定員・受講料金・開講場所等は以下の通りです。講習の内容については、P.6～11のシラバスをご覧ください。

受講番号	領域	講習名	担当者	日時	時間数	受講対象	募集定員	受講料
A	必修	教育の新情勢	山口 拓史 松岡 弥玲 内田 康弘	8月11日 (水)	6時間	全教諭 養護教諭 栄養教諭	80名	6,000円
B	選択 必修	道徳教育の理論と実践	山本 信幸	8月12日 (木)	6時間	全教諭	80名	6,000円
C1	選択	発達障がい児への理解と対応 -子供をみる視点と対応の工夫-	八田 純子	8月4日 (水)	6時間	全教諭 養護教諭	80名	6,000円
C2	選択	日本史—古代・中世の文化史	松園 斉	8月6日 (金)	6時間	小学校教諭 中学校社会科教諭 高等学校地歴科教諭	15名	6,000円
C3	選択	新学習指導要領と英語教育の校種間 連携	藤田 賢 松井 千代	8月5日 (木)	6時間	中学校・高等学校 英語科教諭	24名	6,000円
C4	選択	和歌の楽しみ	多門 靖容	8月5日 (木)	6時間	中学校・高等学校 国語科教諭	25名	6,000円

※講習はすべて「日進キャンパス」で行います。

(2) 修了認定試験について

修了認定試験は原則として各講習の時間内（最終時限）に行います。複数試験を行い、評価する講習もあります。

(3) 講習期間中の駐車場利用について

大学駐車場（無料）が利用できます。

3. 申込手続

(1) 受講申込

申込手続は、受講許可の可否を早くお伝えするため、**2段階**で構成されています。本年度開講の全ての講習の申込みにおいて、以下の手順に従い必ず“事前申込”と“本申込”を行ってください。

《 申込から受講までの流れ 》



(2) 返金について

入金された受講料金は、講習開講日の前日から数えて7日前(土、日、祝日を除く)の17時までに受講申込者本人から受講辞退の申し出があった場合のみ、1講習につき納金された受講料から事務手数料**1,000円を差し引いた金額**を返金いたします。その際、振込金授受書などの控えが必要となりますので、講習が終了するまでなくさないようお願いいたします。

期日を過ぎてからの返金や未返金の受講料で来年度以降に受講することはできませんのでご了承ください。

受講を辞退される方は、必ず教務課 教員免許状更新講習係までご連絡ください。

Tel. 0561-73-1111 (内線 1212・1213 平日 8:50~17:30)

(3) 留意事項

- ・多くの方に受講していただくため、事前申込の際に申込ができる選択領域の講習(C1～C4)は、3つまでとしております。
- ・前年度に同内容の講習を本学にて受講し、履修認定が行われている場合、再度講習を受講しても履修認定はできませんのでご注意ください。
- ・一旦提出された書類は、返却いたしませんのでご了承ください。
- ・申込後に住所・電話番号・メールアドレス等の登録情報を変更された場合は、大学まで必ずご連絡ください。
- ・受講者以外の聴講は許可しておりません。

(4) 個人情報の取り扱いについて

本学では、申込の際に提供いただいた申込者の個人情報を、細心の注意を払って適法かつ適切に管理し、運用します。なお、以下の利用目的以外には使用しません。

【利用目的】

受講登録、講習、試験、成績処理、受講許可等の案内、修了証明書及び履修証明書の発行

4. 履修証明書及び修了証明書について

「履修証明書」または「修了証明書」を、9月下旬に講習合格者に発送いたします。

5. 講習シラバス

[必修領域] 全ての受講者が受講する領域

講習番号	A	講習名	教育の新情勢
講習日	令和3年8月11日(水)		
時間数	6時間	講習形態	講義とワークショップ
受講定員	80名	主な講習対象者	全教諭・養護教諭・栄養教諭
講習の到達目標	配付資料等に基づき、現代における教育の諸情勢を学ぶことを通じて、学校教育を軸とした教員の役割等について認識を深め、教育現場で適切に対応できる知見・能力等の向上をめざす。		
講習の概要	必修領域「教育の新情勢」（6時間）は、受講者が多忙な日常職務とは異なる大学講義等に触れ、講習修了後にリチャージされた自信と誇りをもって教壇に立つことができるよう支援する。 本講習では、①子どもの発達の理解、②日本の教育事情の理解、③教育観・子ども観、④省察に基づく「めざす教師」像という4つの視点を中心に取り上げる。		
指導計画	1限 9:30~11:00	1 子どもの発達に関する最新の理解 【担当 松岡 弥玲（愛知学院大学 心身科学部講師）】 ①子どもの発達に関する最新の心理学の知見について解説する。 ②子どもの肯定感を高めるポジティブ心理学教育について学ぶ。	
	2限 11:10~12:40	2 日本の教育事情に関する最新の理解 【担当 内田 康弘（愛知学院大学 教養部講師）】 ①日本の教育政策・教育制度を理解する。 ②日本の教育問題とその背景構造を理解する。	
	3限 13:30~15:00	3 教育観・子ども観の理解 【担当 山口 拓史（愛知学院大学 教養部教授）】 ①史的視座から教育観の変化を理解する。 ②史的視座から子ども観の変化を理解する。	
	4限 15:10~16:40	[前半] 15:10~16:00 4 省察を踏まえた「めざす教師」像の考察 【担当 山口 拓史（愛知学院大学 教養部教授）】 ①教職としての省察（reflection） ②「めざす教師」像を考える。 [後半] 16:00~16:40 試験	
修了認定の方法	筆記試験の評価による		
成績評価の視点	試験の成績を評価とする		
備考	試験は第4限中に行います。（16:00~16:40）		

担当教員	山口 拓史（愛知学院大学 教養部教授）、 松岡 弥玲（愛知学院大学 心身科学部講師）、 内田 康弘（愛知学院大学 教養部講師）
------	---

**[選択必修領域] 受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、
選択して受講する領域**

講習番号	B	講習名	道徳教育の理論と実践
講習開設日	令和3年8月12日(木)		
時間数	6時間	講習形態	講義
受講定員	80名	主な講習対象者	全教諭
講習の到達目標	1 学習指導要領「特別の教科 道徳編」から、カリキュラム・マネジメントによって学校教育全体で育成する道徳性についてとらえる。 2 アクティブ・ラーニングの視点から、「考え議論する道徳」の授業展開をとらえる。 3 人間としての生き方を深める視点から、多様な価値観の受容や新たな価値の創造ができる指導方法の工夫をとらえる。 4 心のリフレッシュを図り、教師としての仕事へのやりがいと生きがいを再認識する。		
講習の概要	○学習指導要領改訂により道徳科が誕生した趣旨を踏まえ、「学校教育全体を通じて行う道徳教育」と「特別の教科 道徳」の推進方法を考察する。 ○学校安全に関する学校を巡る近年の状況の変化や、道徳科と特別活動及び総合的な学習(探究)の時間との関連を考察する。 ○模擬授業や体験型授業などを通し、各学校の実態に応じた展開や今後の課題を考察する。 ○心のリフレッシュができ、受講者が仕事のやりがいや生きがいを再認識できる講習を目指す。		
指導計画	1限 9:30~11:00	「学校教育全体を通じて行う道徳教育」と「特別の教科 道徳」における学習指導要領改訂の動向(講義・90分)	
	2限 11:10~12:40	カリキュラム・マネジメントとアクティブ・ラーニングの必要性、学校が組織として取り組む教育活動の展開(講義・60分) 新学習指導要領の目指す道徳科の指導方法の工夫(実習・30分)	
	3限 13:30~15:00	道徳科と特別活動及び総合的な学習(探究)の時間との関連や道徳科の体験型授業(グループワーク・70分、講義・20分)	
	4限 15:10~16:40	[前半] 道徳の教科化や学校安全に関する学校を巡る近年の状況の変化における学習指導要領改訂の動向(講義・40分) [後半] 講習のまとめ(講義・10分) 試験(40分)	
修了認定の方法	筆記試験		
成績評価の視点	講習への参加態度、筆記試験から評価する。		
備考	特になし		
担当教員	山本 信幸(愛知学院大学 教職支援センター非常勤講師)		

〔選択領域〕 受講者が任意に選択して受講する領域

講習番号	C 1	講習名	発達障がい児への理解と対応 - 子どもをみる視点と対応の工夫 -	
講習開設日	令和3年8月4日（水）			
時間数	6時間	講習形態	講義と演習・実習	
受講定員	80名	主な講習対象者	全教諭・養護教諭	
講習の到達目標	発達障がい（LD:学習障がい，ADHD:注意欠如多動性障がい，ASD:自閉症スペクトラム障がい等）のある児童・生徒について正しく理解し，集団場面における指導や対応の方法について包括的に考えられること。また，障がい児を育てる保護者との協力関係の築き方を習得し，問題を抱えた児童・生徒を支援するチームの一員として，どのような役割を担うべきかを考えられること。			
講習の概要	ここでは，(1) 特別支援教育の理念とICF，(2) LD，ADHD，自閉症スペクトラム障がいのある子どもの理解，(3) LD，ADHD，自閉症スペクトラム障がいのある子どもへの対応，(4) 障がい児に関わる教員・親の問題，の観点から講義を行う。講義を通じて発達障がい児への理解を深め，具体的な対応方法について検討できるようになることを目指す。			
指導計画	1限 9:30～11:00	障がいについての考え方の変遷と照らし合わせ，特別支援教育の基本的理念への理解を深める。また，障がいを発達的な視点から考えることや環境との関わりの中で捉えることの重要性を理解する。		
	2限 11:10～12:40	LD，ADHD，自閉症スペクトラム障がいなど発達障がいについての基礎的知識を身につける。また，二次的な問題や愛着の問題への気づきを促し，発達的な変化について理解する。		
	3限 13:30～15:00	発達障がいのある児童生徒への対応について，認知行動療法的視点を取り入れながら問題行動の意味を理解し，対応策を具体的に考える。		
	4限 15:10～16:40	発達障がい児との関わりや保護者への対応の中で生じやすい教員側の問題，逆転移の問題などを理解し，協力関係の築き方について学ぶ。		
修了認定の方法	筆記試験			
成績評価の視点	講習における参加態度，セッションにおける積極的発言，内容の理解度			
備考	試験は第4限中に行います。			

担当教員	八田 純子（愛知学院大学 心身科学部教授）
------	-----------------------

[選択領域] 受講者が任意に選択して受講する領域

講習番号	C 2	講習名	日本史—古代・中世の文化史
講習開設日	令和3年8月6日(金)		
時間数	6時間	講習形態	講義
受講定員	15名	主な講習対象者	高等学校地歴科教員・ 中学校社会科教員・小学校教員
講習の到達目標	教科書においても、教えることが難しい文化史について、日本史学における文化史研究の流れをたどりながら、その問題点や現在の研究の到達点を理解する。		
講習の概要	文化史とは何かという問題から、日本史研究における文化史研究の歴史をたどり、さらに古代・中世における「～文化」と概念化された時代文化の特色や問題点を考えていく。		
指導計画	1限 9:30~11:00	文化史とは何か	
	2限 11:10~12:40	文化史の研究史	
	3限 13:30~15:00	「国風文化」の問題点	
	4限 15:10~16:40	「北山文化」「東山文化」の問題点	
修了認定の方法	筆記試験の評価による		
成績評価の視点	講習への参加態度、筆記試験から評価する。		
備考			

担当教員	松園 齊 (愛知学院大学 文学部教授)
------	---------------------

[選択領域] 受講者が任意に選択して受講する領域

講習番号	C 3	講習名	新学習指導要領と英語教育の校種間連携
講習開設日	令和3年8月5日(木)		
時間数	6時間	講習形態	講義とワークショップ
受講定員	24人	主な講習対象者	中学校・高等学校英語教員
講習の到達目標	主に中学校・高校英語教員を対象に、新学習指導要領と校種間の連携による英語教育のあり方を考える。		
講習の概要	<p>1. 新学習指導要領が目指す英語教育と校種間の連携による視点での実践を探る。 (1) 新学習指導要領が目指す英語教育についてのまとめを行う。 (2) 小学校・中学校・高等学校の英語教育(英語活動)の連携についての考え方に言及する。</p> <p>2. 小中の連携による授業づくり 小学校及び中学校における新学習指導要領の改訂のポイントを紹介するとともに、中学校につながる小学校高学年「外国語」の授業内容及び評価・評価方法から、小中連携の授業づくりを考える。 (1) 新学習指導要領改訂のポイント (2) 小学校外国語の表現活動と中学校文法指導につながるコミュニケーション活動</p> <p>3. 中高の連携による授業づくり 新しい学習指導要領の目指す授業づくりについて、整理し、中高の連携による授業づくりのポイントについて紹介する。実際の言語活動を考えてみる。 (1) 新学習指導要領の目指す中高連携による授業づくり (2) 中高連携から見た言語活動</p>		
指導計画	1限 9:30~11:00	講義:小学校及び中学校新学習指導要領改訂のポイントと小学校英語の実際	
	2限 11:10~12:40	ワークショップ:文法指導につながるコミュニケーション活動:小学校から中学校へ	
	3限 13:30~15:00	講義とワークショップ:新学習指導要領と中高の連携	
	4限 15:10~16:40	まとめのディスカッション、試験	
修了認定の方法	筆記試験の評価による		
成績評価の視点	講習への参加態度、筆記試験から評価する。		
備考			

担当教員	藤田 賢 (愛知学院大学 文学部教授) 松井 千代 (愛知淑徳大学 文学部教育学科講師)
------	---

[選択領域] 受講者が任意に選択して受講する領域

講習番号	C4	講習名	和歌の楽しみ
講習開設日	令和3年8月5日(木)		
時間数	6時間	講習形態	講義と演習
受講定員	25名	主な講習対象者	中学校・高等学校国語科教員
講習の到達目標	<p>教科教育法の授業で学生に和歌を扱わせると、語句と文法の説明、作者の説明、現代語訳をやって終わり、というのが圧倒的に多い。書かれた一首を全体として扱っている点では、短い随筆を読んでいるのと、根本の態度は変わらない。歌の享受の仕方としてはまずいのではないか。歌の情報が初句から徐々に身体に入ってくることをイメージし、歌の世界が時系展開するそのつどそのつどを考えなければ、なぜ枕詞、序詞、掛詞が存在したのかさえ説明できない。本講習では線状性(時系展開)で歌を受け取ることの必要性を確認し、これを基盤とした表現分析の知見を得ることを目的とする。</p>		
講習の概要	<p>(1) 歌になぜ景物が必要なのか、景物を介する共感とはなにか、枕詞・序詞とはなにか、時系展開で歌を聴くとどうなるかなど、歌を味わうための基本事項を概説する。 (2) 歌のスリル(違う時間・空間に行く感じ)とサスペンス(知りたい情報が遅延される感じ)がどのような意味的・統語的仕組みに拠っているか、検討する。</p>		
指導計画	1限 9:30~11:00	和歌の楽しみ	
	2限 11:10~12:40	スリルの分析	
	3限 13:30~15:00	サスペンスの分析	
	4限 15:10~16:40	補足 試験	
修了認定の方法	筆記試験		
成績評価の視点	講習への参加態度、筆記試験から評価する。		
備考			

担当教員	多門 靖容(愛知学院大学 文学部教授)
------	---------------------

6. よくある質問 Q&A

Q1 必要な更新講習をすべて修了しました。その後の手続きはどうすればよいですか？

A1 大学から発行される証明書を勤務地の都道府県教育委員会に提出し、更新講習修了確認を受けてください。なお、修了確認期限直前の2ヶ月間は都道府県教育委員会が事務手続きを行う期間になるため、修了確認を受けることができません。必ず、修了確認期限の2ヶ月前までに手続きを行ってください。

Q2 受講者の選考方法は先着順ですか。それとも抽選ですか？

A2 申込者多数の場合、抽選で受講者を決定いたします。

Q3 各講座の最後の修了認定試験は受けなければいけませんか？

A3 講習を受講していただいても、試験を合格しないと修了認定はできません。必ず試験を受けてください。

Q4 昼食時に学生食堂等の利用はできますか？

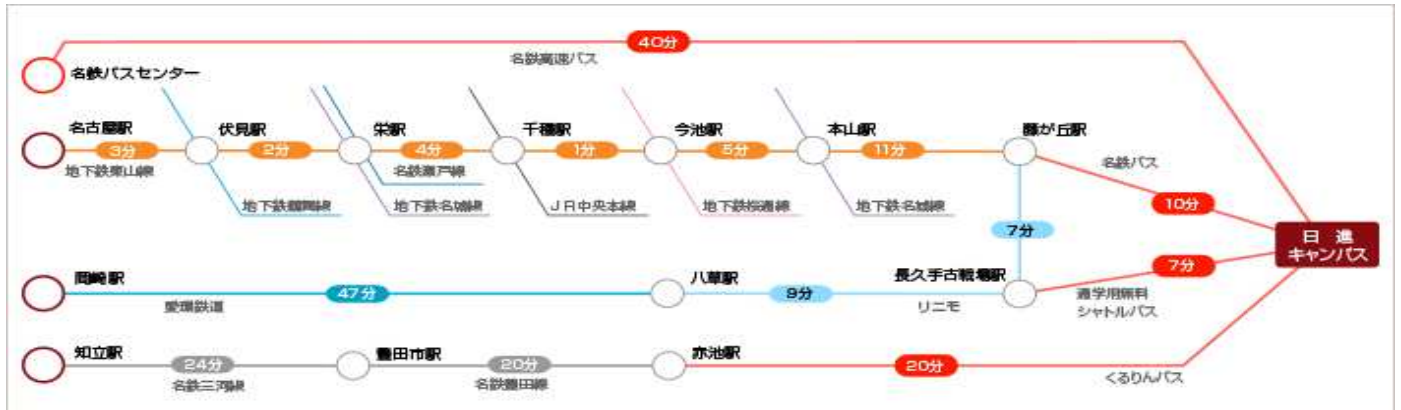
A4 利用できますが、開講日が夏季休暇中や土曜日の場合、学生食堂は営業していない場合があります。コンビニエンスストア（ローソン）は利用できます。

Q5 講習時に自家用車で通うことは可能ですか？

A5 大学駐車場（無料）が利用できます。本申込手続・受講料納金が完了された方へ「受講票」「受講要項」と併せて「駐車許可証」を送付いたしますので、講習期間中、車でお越しになる方は、駐車場に入る際、「駐車許可証」を提示してください。

7. 交通アクセス〔日進キャンパス住所：愛知県日進市岩崎町阿良池 12〕

(1) 公共交通機関

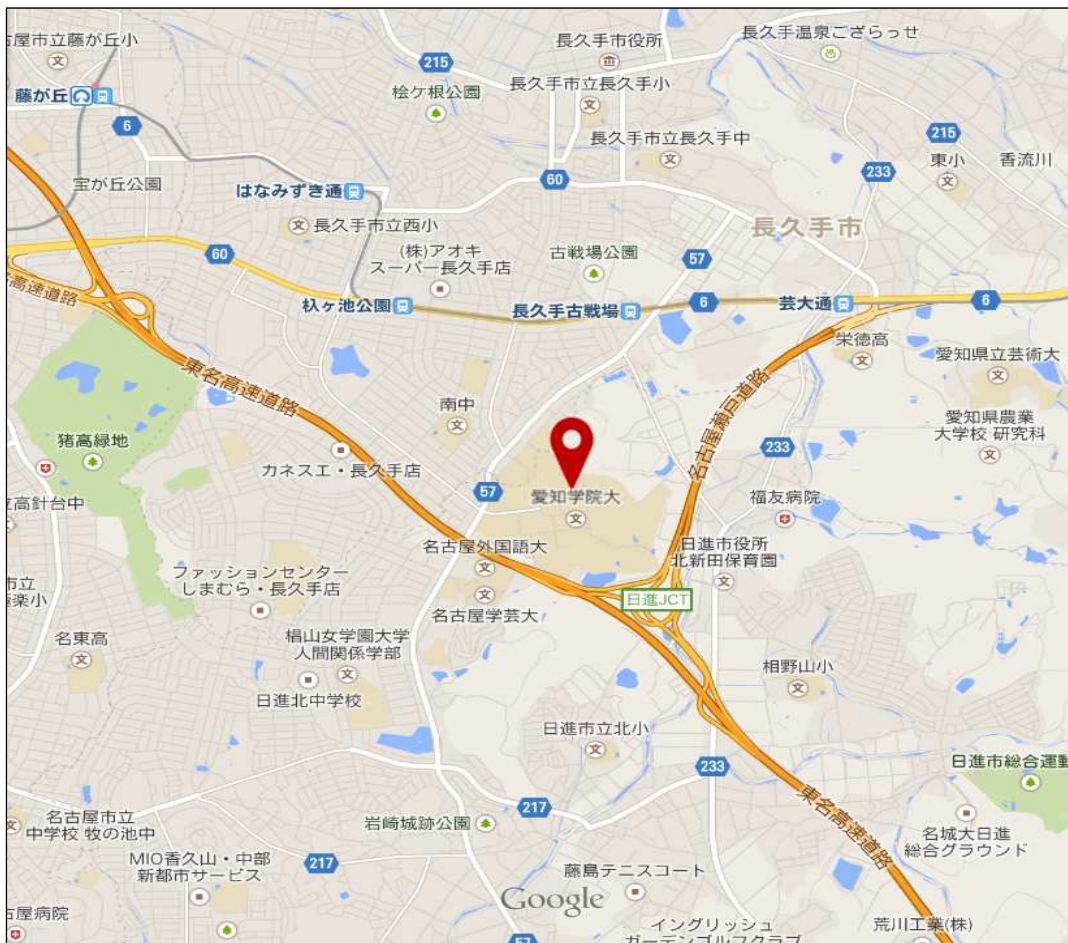


【主なアクセス】

- ・地下鉄東山線「藤が丘駅」から名鉄バス「愛知学院大学」行きにて約10分。
- ・名古屋駅 名鉄バスセンターから、名鉄バス「愛知学院大学前」行きにて約40分。

(2) 自家用車等

- ・名古屋 IC から猿投グリーンロードを瀬戸・長久手・豊田方面へ。「杵ヶ池」交差点を右折して直進。所要時間約15分。
- ・長久手 IC から猿投グリーンロードを長久手、名古屋・日進方面へ。「横道」交差点を左折、「竹の山」交差点を左折。所要時間約5分。



※駐車場利用時は、正門（竹の山交差点）よりお入りください。

愛知学院大学 教務課 教員免許状更新講習係

〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池 1 2

Tel (0561) 73-1111 Fax (0561) 74-1607

E-mail: koshin@dpc.agu.ac.jp